

特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和8年8月28日（金）

2 発生日

令和8年8月24日（月）から同月26日（水）までの間

3 被害品

現 金 500万円

暗号資産 合計94万5,007円相当

4 被害者

和歌山市内居住の50代女性

5 状況

令和8年8月24日に、被害者の携帯電話に和歌山県警の警察官を騙る者から電話があり「あなたに2億円規模の事件の容疑がかかっている。ハセガワタクヤという犯人の家からあなた名義のキャッシュカードが見つかった。そのカードで多額のお金が動いているので、あなたに逮捕状等が出ている。」等と言われました。続いて、ハセガワを捜査している姫路警察署の警察官を騙る者に代わり、以後のやり取りはをSNSで行うように誘導されました。

SNSのビデオ通話で、姫路警察署の警察官や検察官を騙る者から警察手帳や逮捕状を見せられた上、「身の潔白を証明するためには資金調査をする必要がある。」等と言われ、相手の指示に従い、インターネットバンキングで現金500万円を指定された口座に振り込みました。

また、相手から指示されるがまま、暗号資産のアプリをインストールするなどして、8月26日に2回にわたり、暗号資産合計94万5,007円相当を指定されたアドレスに送金しました。

その後、被害者は相手から「SNSを消しておく。」等と言われたことを不審に感じ、兵庫県警察のホームページを調べたところ、「詐欺に注意」等の注意喚起の記事を見つけたため、詐欺被害に遭ったものと思い、警察に届け出たものです。

6 その他

詐欺電話の遮断には「国際電話利用休止申込み」や「警察庁推奨アプリ」の利用が大変効果的です。

詳しくは「#みんなとめ」を検索、または最寄りの警察署にお問い合わせください。

万が一、知らない番号から電話を受けた場合はすぐに通話を切り、相談無料の

『ちょっと確認電話』 0120-508（これは）-878（わなや）
に確認してください。